

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

観光協会がひとを呼ぶ！まちに遊ぶ！しごとが生まれるプロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

稲城市

3 地域再生計画の区域

稲城市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

稲城市は、多摩丘陵の緑地、多摩川や三沢川、果樹園など豊富な水と緑に囲まれたまちであり、新宿副都心までは電車で約30分と、アクセスにも恵まれた暮らしやすいまちとして認知されている。その一方で、稲城市には、首都圏最大級のイルミネーションで人気のよみうりランド、男子ゴルフ日本シリーズが行われる名門東京よみうりカントリークラブなど、滞在型のレクリエーション施設、稲城の梨や高尾ぶどうなどの特産品、江戸の里神楽や蛇より行事などの歴史・文化、三沢川の桜や大丸用水などの景観等、様々な観光資源があるものの、その魅力に比し認知度が低く、また、滞在型観光資源からの回遊性にも課題があり、情報発信力の強化が求められている。

4-2 地方創生として目指す将来像

稲城市の自然、景観、文化、歴史、農産物などの地域資源を活用し、観光事業の振興を図ることで都市の魅力を増進し、これを国内外へ広く発信して稲城市への誘客を促すことにより交流人口を増やし、商業・農業を回遊性を高める起点としていくことで、地域の活性化、市民生活の充実及び地域文化の発展を目指す。

市民・行政・企業等が協働することで、稲城の地域資源が多くの人に認知され、風景や市民の心の中に「ふるさと」を感じられるようなまちを目指し、市民がこのまちに永く住み続けたいと願い、観光客からも住んでみたいと思われるような、魅力に溢れたまちづくりを進めていく。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	2018年度 増加分 1年目	2019年度 増加分 2年目	2020年度 増加分 3年目	KPI 増加 分の累計
イベント参加者数 (人)	18,053	2,038	234	237	2,509
1日あたり流入人口 (人)	35,506	1,130	1,183	1,200	3,513
婚活事業によるカッ プル数(組)	12	4	4	4	12

※イベント参加者数のKPIにおける事業開始前は、2016年度実績を記載している。2018年度増加分の設定にあたっては、2017年度の一部実績を踏まえて設定しており、特に「市民デーin ジャイアンツ球場」が2017年度に急増したことを踏まえて設定しているため、目標値も急増している。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

従来の行政の枠組みを超えた多様な観光推進事業を展開するため、その中心的な役割を担う一般社団法人稲城市観光協会を新規に設立する。観光コンテンツの創出、それらを活用した市内回遊・滞留の仕組み作り、ニューツーリズムの考えに基づくシティプロモーション、地域ブランドを活かした商品の販路拡大を進めていく。さらには、商業・農業を回遊性を高めるための起点と位置づけることで、従来、行政主導で推し進めてきた観光推進事業とは一線を画す、大きな事業を展開し、人を呼び、街に遊び、更には仕事の創出に繋がる賑わいを生み出していく。

また、近隣自治体との広域連携を通し、地域としてのブランド価値を高めつつ、戦略的な情報発信を展開することにより、稲城市への観光客の更なる増加を目指していく。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体
稲城市

② 事業の名称:観光協会がひとを呼ぶ!まちに遊ぶ!しごとが生まれるプロジェクト

③ 事業の内容

従来の行政の枠組みを超えた多様な観光推進事業を展開するため、その中心的な役割を担う一般社団法人稲城市観光協会を設立する。理事会は駒沢女子大学、(株)よみうりランド、東京ヴェルディ株式会社、稲城市商工会、東京南農業協同組合等で構成され、それぞれが連携・融合した新たな民間活力として、観光コンテンツの創出、それらを活用した市内回遊・滞留の仕組み作り、ニューツーリズムの考えに基づくシティプロモーション、地域ブランドを活かした商品の販路拡大を進めていく。また、戦略的な情報発信を展開することで、稲城市への観光客の増加を目指していく。

さらには、商業者と協働した商店街への誘客、農業者と協働した農園の活用などを観光推進事業として一体的に取り組むことで、回遊性を高めるとともに、地域の「稼ぐ力」の向上とさらなる雇用の創出を目指していく。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

一般社団法人稲城市観光協会は、いなぎ発信基地ペアテラスの指定管理料、会員会費、事業収入、指定管理事業収入及び稲城市からの補助金により運営していく。会員数増加による会費収入増と収益事業の拡大により、2020年度までに安定的な収益体制を構築し、2021年度以降は、交付金に頼らず組織として自立・自走していく。

【官民協働】

本事業は、駒沢女子大学、(株)よみうりランド、東京ヴェルディ株式会社、稲城市商工会、東京南農業協同組合等で理事会が構成される一般社団法人稲城市観光協会が扇の要となり、中心的な役割を担うことで、新しい観光推進施策を展開していく。

【政策間連携】

観光資源として商業・農業を組み込み、一体として取り組むことで、回遊性を高めるとともに、地域の「稼ぐ力」の向上とさらなる雇用の創出を図る。

【地域間連携】

「多摩丘陵と南多摩3市の魅力を楽しもう (Wonderful!! Tama-South)」
【稲城市(幹事市)、町田市、多摩市】、「京王線沿線4市 観光振興創出事業」
【府中市(幹事市)、日野市、多摩市、稲城市、府中観光協会、日野観光協会、せいせき観光まちづくり会議、京王電鉄(株)、一般社団法人稲城市観光協会】、「南武線沿線自治体シティプロモーション推進事業【立川市

【幹事市）、国立市、府中市、稲城市、川崎市】の実施をとおり、他団体との連携体制を構築する。

これら広域連携事業により、稲城市と親和性の高い近隣市を含めた地域としてのブランド価値を高め、様々な回遊施策を実施していく。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	2018年度 増加分 1年目	2019年度 増加分 2年目	2020年度 増加分 3年目	KPI 増加 分の累計
イベント参加者数 (人)	18,053	2,038	234	237	2,509
1日あたり流入人口 (人)	35,506	1,130	1,183	1,200	3,513
婚活事業によるカップル数(組)	12	4	4	4	12

※イベント参加者数のKPIにおける事業開始前は、2016年度実績を記載している。2018年度増加分の設定にあたっては、2017年度の一部実績を踏まえて設定しており、特に「市民デーin ジャイアンツ球場」が2017年度に急増したことを踏まえて設定しているため、目標値も急増している。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

KPIの達成状況を稲城市企画部企画政策課がとりまとめ、その後、産官学金労に加え、自治会代表、子ども・子育て分野の有識者、公募市民で構成される「稲城市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会」に報告を行い、検証していただく。その検証結果を踏まえ、次年度以降の事業計画等の見直しを行っていく。

【外部組織の参画者】

駒沢女子大学教授、稲城市商工会、京王電鉄(株)、さわやか信用金庫、連合東京三多摩ブロック地域協議会、稲城市自治会連合会、稲城市子ども・子育て会議、公募市民

【検証結果の公表の方法】

毎年度、稲城市ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 23,138千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から2021年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクト

事業概要：これまでも「メカニックデザイナー大河原邦男プロジェクト」として、大河原邦男氏がデザインした「機動戦士ガンダム」に登場する「ガンダム」及び「シャア専用ザク」の大型モニュメントや、「ヤッターマン」に登場する「ヤッターワン」のモニュメント等を設置してきている。今後も氏の作品展やトークイベント等を実施する。

実施主体：稲城市、一般社団法人稲城市観光協会

事業期間：2018年度～2020年度

(2) 多摩丘陵と南多摩3市の魅力を楽しもう（Wonderful!! Tama-South）

事業概要：【稲城市（幹事市）、町田市、多摩市による広域連携事業】地理的にも歴史的にも親和性の高い隣接3市をフィールドとし、歴史遺産やアニメ・キャラクター・映画・文学等の現代的資源を活用した観光推進事業を展開する。具体的には、観光マップ・観光ムービー・観光ブックの作成、SNSによる情報発信、回遊ツアー・セミナー・講習会の開催等を行う。

実施主体：稲城市、一般社団法人稲城市観光協会

事業期間：2018年度～2020年度

(3) 京王線沿線4市 観光振興創出事業

事業概要：【府中市（幹事市）、日野市、多摩市、稲城市、府中観光協会、日野観光協会、せいせき観光まちづくり会議、京王電鉄(株)、一般社団法人稲城市観光協会による広域連携事業】都内居住者及び外国人観光客に対し、訪問の導線として京王線沿線4市の認知度を高め、沿線価値を向上させることにより訪問を促すことを目的とし、ワークショップの開催、回遊コース及びPR動画の作成、観光マップの作成等を行う。

実施主体：稲城市、一般社団法人稲城市観光協会

事業期間：2018年度～2020年度

(4) 南武線沿線自治体シティプロモーション推進事業

事業概要：【立川市（幹事市）、国立市、府中市、稲城市、川崎市による広域連携事業】JR南武線のブランドがより広く周知できるよう、自治体間の連携に加え、民間事業者等との連携も視野に入れて活動を行う。具体的には、SNSを活用したフォトコンテスト等を行う。

実施主体：稲城市

事業期間：2018年度～2020年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から2021年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

KPIの達成状況を稲城市企画部企画政策課がとりまとめ、その後、産官学金労に加え、自治会代表、子ども・子育て分野の有識者、公募市民で構成される「稲城市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会」に報告を行い、検証していただく。その検証結果を踏まえ、次年度以降の事業計画等の見直しを行っていく。

【外部組織の参画者】

駒沢女子大学教授、稲城市商工会、京王電鉄(株)、さわやか信用金庫、連合東京三多摩ブロック地域協議会、稲城市自治会連合会、稲城市子ど

も・子育て会議、公募市民

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	2018年度 増加分 1年目	2019年度 増加分 2年目	2020年度 増加分 3年目	KPI 増加 分の累計
イベント参加者数 (人)	18,053	2,038	234	237	2,509
1日あたり流入人口 (人)	35,506	1,130	1,183	1,200	3,513
婚活事業によるカッ プル数(組)	12	4	4	4	12

※イベント参加者数の KPI における事業開始前は、2016 年度実績を記載している。2018 年度増加分の設定にあたっては、2017 年度の一部実績を踏まえて設定しており、特に「市民デー in ジャイアンツ球場」が 2017 年度に急増したことを踏まえて設定しているため、目標値も急増している。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、稲城市ホームページで公表する。